

旅行の楽しみといえば、ナイトライフ。やっぱりおいしい食事とお酒でしよう。今回はインターネットマガジンの読者でもあるプロのバーテン



ダーさんのコメントとともに、モルトウィスキー、ビール、ワインの楽しみを倍増させるサーバーをご紹介しますましよう。

# LIFE WITH INTERNET

食べ歩き旅行の達人 愚留目 都亜

## 【旅は世につれ、酒につれ】

先月初め、友人4人と私たち夫婦の計6人でハワイに行ってきました。ワイキキは軽井沢、清里、京都嵐山とならぶミーハーショッピングゾーンに成り下がっていますが、オアフ島の裏側や他の島に行くと、雰囲気急が変わり、これぞハワイという感じになります。

今回の友人4人の一番の目的は、標高3000メートルにある展望台から自転車で一気に海岸までおりてくるという、マウイ島のハレアカラからのバイクダウンヒルです。私たち夫婦は、軟弱にも寝ていましたが、4人とも大変おもしろかったとのこと。ハワイでのお勧めのアクティビティです。

友人4人が帰国した後、夫婦でいまだ行ったことがなかったモロカイ島とラナイ島に行ってきました。ラナイ島はつまらなかったのですが、モロカイ島は最高でした。ハワイの島では、1位モロカイ島、2位カウアイ島というのが、夫婦の共通意見です。

さて、私たち夫婦の旅行には、ブランド品の洋服やアクセサリーのショッピングは無縁です。かわりに、本屋に行き、ミュージカルを見て、

おいしいものを食べ、お酒を飲み、リゾートで休養する、というのが基本です。いろいろな土地で珍しいもの、おいしいものを食べ、その土地のお酒を飲むことが、旅行の最大の目的といってもいいでしょう。

そこで今回のこの記事では、「お酒」に関する情報の紹介をしたいと思います。WWWサーバをいろいろ探っているときに見つけたものをいくつか紹介します。

最初のもは、モルトウィスキーについてです。今回紹介するものの中で一番本格的なものです。イギリスにあるUniversity of Edinburghで提供しているもので、モルトウィスキーの蒸溜所のデータ、解説、テースティングレポートなどが入っています。

つぎで紹介するのはビールラベルのコレクションです。お酒に関するもので一番多いのが、ビールについての情報です。なかでも欧米では自家醸造が盛んなので、インターネット上でも多くの情報を見つけることができます。ビールラベルのコレクション

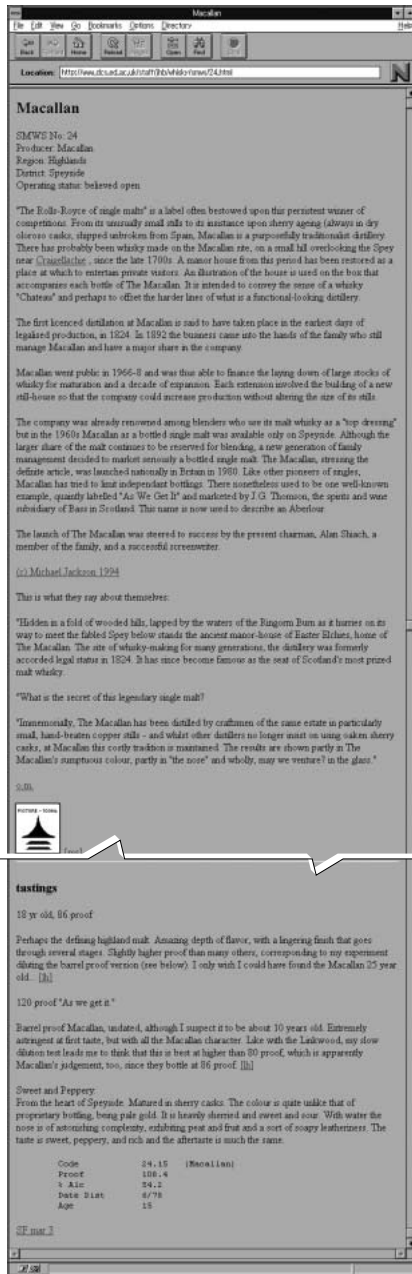
は、自家醸造に関する情報が集められたftpサイトに置かれているものを、一覧表にして表示させたものです。200種以上ものラベルを眺めていると、思わず冷蔵庫の中のビールに手が行ってしまいます。また、ロンドンのパブの情報ページについても少し触れます。これは、読者参加型の情報共有データベースとなっています。

最後がオリジナルラベルのワインの作成と購入です。ちょっとしたお祝いごとに、自分のオリジナルラベルを貼ったワインを作ってもらうことができます。日本でも、どこかの蔵元さんがインターネットでこういった商売を始めるとおもしろいと思いませんか？自宅にいながらにして日本酒が、それもオリジナルラベルで注文できるのですから。

「お酒」に関する情報はある程度の量は見つかります。しかし、どれも趣味の域を脱していないというのが現状のようです。最初に紹介するモルトウィスキーツアー並みのものが、他のお酒、たとえばビールとか日本酒とかでも始まってくれば、いいことないのですが。



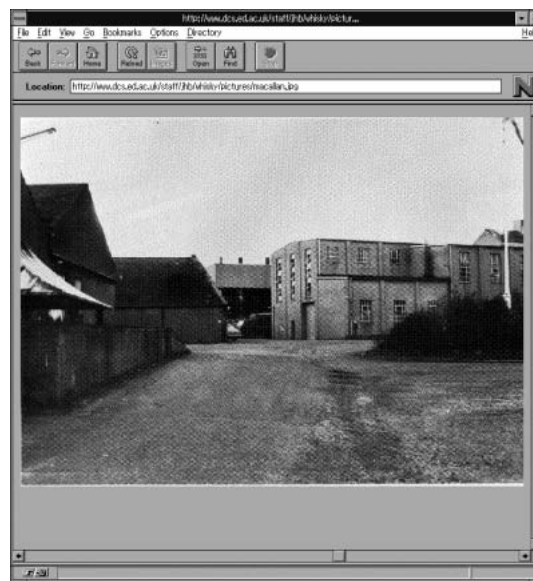




⑤②、⑤あるいは④から蒸溜所を選んで、クリックすると、それぞれの蒸溜所のデータが表示される。ここでは、Macallan（マッカラン）を指定し、その情報を表示させている。

このモルトウイスキーツアーは、著名人の意見を、その許諾をとって載せています。トップページで「copyright restrictions」をクリックすると、「Acknowledgements」のページが表示されます。

その先頭に名前があがっているのが、Michael Jackson氏です。ここでは、彼の著作の「The Malt Whisky Companion」から、許可を取って転載したことが記され



コメンテーターから

### WHISKY of WORLD WIDE

読者の皆様が、ネットサーフィンの合間やアフターファイブなどで楽しんでいるウイスキーはどこで造られ、またいつごろから造られるようになったかご存じでしょうか。まず世界の主要5大ウイスキーを紹介いたします。

スコットランド：スコッチ・ウイスキー

英国のブリテン島北部で産出される、スコッチ・ウイスキーは3タイプに分類されます。まず二乗大麦のみを原料としたモルトウイスキー、とうもろこしを主体に穀物を原料として連続式蒸溜器で蒸溜したグリーンウイスキー、さらにそれらを混ぜ合わせて造られるブレンデッドウイスキーがあります。そのルーツをたどりますと、1494年（室町時代）のスコットランド大蔵省記録No.305に確かに記載されています。1994年には記念すべき500周年を迎えました。今回ご紹介しているWWWはスコッチウイスキー、特にモルトウイスキーを造り出す蒸溜所の詳しい情報をご覧いただけます。

ています。彼はウイスキーだけではなく、ビールについても専門家で、本を何冊も出し、テレビや新聞でも有名です。ちなみに、私も彼の著作である「Michael Jackson's BEER Companion」という本を持っています。ウイスキーやビールを求めて旅をすることが多いらしく、旅人としても有名です。

ほかに、「The Mitchell Beazley Pocket Whisky Book」という本も出典として出てきます。これはポケットサイズの本のシリーズで、赤/白ワイン、ブランデー、ビール、チーズ、オイルなどの本もあります。また、表示されるスコットランドとスペインの地図は、The Scotch Malt Whisky Societyのニューズレターからの転載で、蒸溜所の番号も、このニューズレターでの番号によっているそうです。

⑥⑤で「PICTURE」を指定するとこのページが表示される。ここでは、Macallanの蒸溜所の外観が見られる。蒸溜所ごとに、通常1～2枚の写真が用意されている。

アイルランド：アイリッシュ・ウイスキー

英領北アイルランド自治州とアイルランド共和国より産出され、口伝伝説では世界最高のウイスキーとされています。またアイリッシュコーヒーが有名。

アメリカ：アメリカン・ウイスキー（総称）

とうもろこしを原料として造られるバーボン・ウイスキーが有名。また、原料、製法により様々なウイスキー（ライ、コーン、ブレンデッドなど）を産出しています。

カナダ：カナディアン・ウイスキー

ライ麦を主体とした、独自のタイプのウイスキーを産出しています。

日本：ジャパニーズ・ウイスキー

スコッチタイプのウイスキーを主体としながら、デリケートなウイスキーを産出しています。

（橋口）

# ビールラベルのコレクション

<http://guraldi.hgp.med.umich.edu/Beer/>

2番目に紹介するのは、ビールラベルのコレクションです。いろいろな絵柄や色彩のラベルを見ていると、楽しくなりませんか？ ビール大好き人間の私は、思わず喉が鳴ってしまいます。

インターネットの中の「お酒」の情報としては、ビールの自家醸造に関するものが一番多いように感じられます。その中の1つとして、Stanford University内のマシンでのftpサービスがあります（URLは

<ftp://sierra.stanford.edu:/pub/homebrew/>）実はこの中にビールラベルのJPEGファイルが収められています。ビールラベルのコレクションの多くは、このファイルを基にして、約100ドット×100ドットのGIF形式のファイルを作成し、表示しています。GIFファイルをクリックして表示される大きなイメージは、元のJPEGファイルとなります。

欲を言えば、ラベルのほかにビン全体の写真と、それぞれのビールに関する情報がついていればよかったのですが、そうすれば、資料集として使うこともできます。



① 「Spencer's Beer Page」のトップページ。ビールラベルを見るには、2番目の「Beer Labels」をクリックする。ほかに、ビールに関する各種情報へのリンクがある。

② 「Beer Labels Online」のページ。ここで、ビールラベルの表示方法を選択する。キャプションのあるなし、表示の順序の違いなどを指定する。また、先頭にある「Homebrew Archive」を選択すると、ビールラベルのイメージを実際に収集したWWWサーバに行ける。



③④ 「Beer labels without captions」を選択すると、この画面が表示される。なんと、全部で223種類のビールラベルが表示される。私の好きな「ANCHOR STEAM BEER」のラベルもある（5行目中央）また、それぞれのラベルをクリックすることで、さらに大きく表示させることもできる。

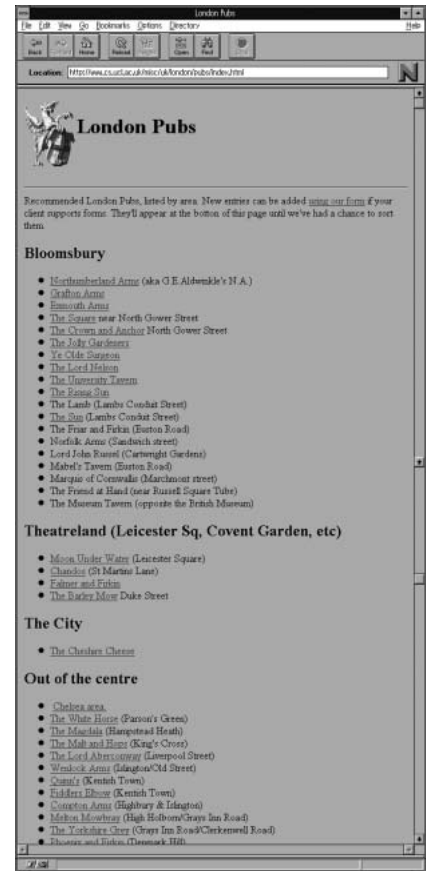




ビール の 話 題 として、ビールラベルや自家醸造以外のものといえば、もちろん、パブに関するものです。イギリスやアメリカのいくつかのサイトで、それぞれの場所のパブの情報を集めて、それを公開しています。多くは、読者からの意見を随時追加して、情報を多くしていく手法をとっています。

右に示したのは、ロンドンのパブの情報を集めたものです（URLは <http://www.cs.ucl.ac.uk/misc/uk/london/pubs/index.html>）。これを見ると、ロンドンでは「Bloomsbury（ブルームズベリー）」という地域にお勧めのパブが多いことがわかります。ここはSOHO（ソーホー）の北に位置し、観光客があまり行かないところです。今度行ってみよう、と思った私です。

④ 「London Pubs」のトップページ。ロンドンのパブが、4つの地域に分けられて列記してある。パブを選んでそこをクリックすると、パブの情報や意見を見ることができ、また、「using our form」をクリックして、自分の意見を書き込むこともできる。



コメンテーターから

#### BEER of WORLD WIDE

今日、いやはるか昔から日常酒として、またワインの双壁として君臨しているビールはどこで造られ、またいつごろから造られるようになったかご存じでしょうか。紙面の関係上ビール誕生の歴史を詳しくご説明できませんが、人類最古の文明を築いたシュメール人は数種類のビールを飲んでいたようです。ビールは人類の歴史とともに発達、進歩、波及してきたと言っても過言ではないでしょう。また、各国それぞれ特徴のあるビールを産出していますのでラベルを確かめ飲み比べてみるのも楽しいと思います。日本に輸入されているビールの代表的な原産国は、ドイツ（50種類以上）、ベルギー（40種類以上）、アメリカ（40種類以上）、英国（20種類以上）、スイス、オーストリア、チェコ、オランダ、デンマーク、スペイン、ポルトガル、イタリア、ギリシャ、キプロス、ケニア、イスラエル、カナダ、メキシコ、ブラジル、ジャマイカ、ニュージ-

ランド、オーストラリア、インド、シンガポール、タヒチ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、中国、韓国、台湾、日本です。日本でも狭い土地に何と地域、季節限定を含むと40種類以上も同じようなタイプのビールが販売されています。さらに、ミニブルワリーも誕生しました。また、外国では以前より地ビール醸造キットも発売され一般家庭で盛んに造られています。日本もやっと「地ビール」が誕生しました。

（橋口）





① Les Vignerons Inc. のホームページ。注文の手順、料金の計算方法など、サービスの説明を示している。

② 最初にワインを選択する。ワインの価格は、1本約7ドルで、1ケース12本で約75ドルとなっている。また「Sampler」といって、好みのワイン3種を選んで、3本セットにして試すことができる。

# オリジナルラベルのワイン

URL<sup>③</sup> http://www.netmarket.com/wines/bin/main:grm|mode=text

最後に紹介するのは、オリジナルのラベルを貼ったワインの注文に関するものです。これは Les Vignerons Inc. という会社が、NetMarket Company を通じて提供するサービスで、インターネットで注文ができます。ただ、残念なことに日本からの注文はできません。

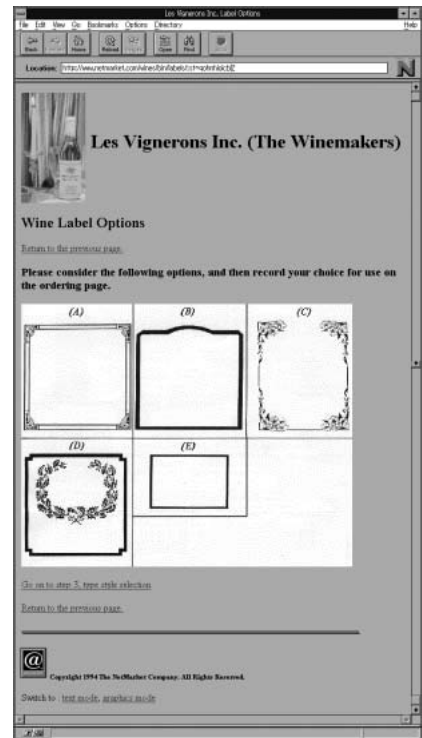
オリジナルラベルといっても、白紙に最初からデザインするのではなく、ラベルの輪郭、印字する文字の書体、ラベルに記入する絵などがあらかじめいくつか用意されています。注文者はその中から気に入ったものを選んで、指定するだけですみます。

③ の絵を選択する画面を見るとわかるとおり、用意されている27種の絵のうち、19種は結婚祝い用のものです。また、残りの8種の中には、学校のマークを入れられた



り、たとえば「25周年」のように年数を入れたりできる絵もあります。

3ケース以上の注文なら、ラベル作成代も無料となり、送料、梱包手数料を加えても、1本当たり770円弱です。たとえ1ケースだけの注文でも、1本あたり940円弱ですむので、ちょっとしたお祝いごとにも使えらると思います。



③ 第2ステップは「Wine Label Option」で、ラベルの形、輪郭線の形状を選択する。選択可能なラベルの形は全部で5種類で、線だけで囲んだものから、図案的なものや、やや小振りのもなどが用意されている。ここでは、希望のラベルを選び、記号を覚えておくだけで、実際の指定は後で行なう。

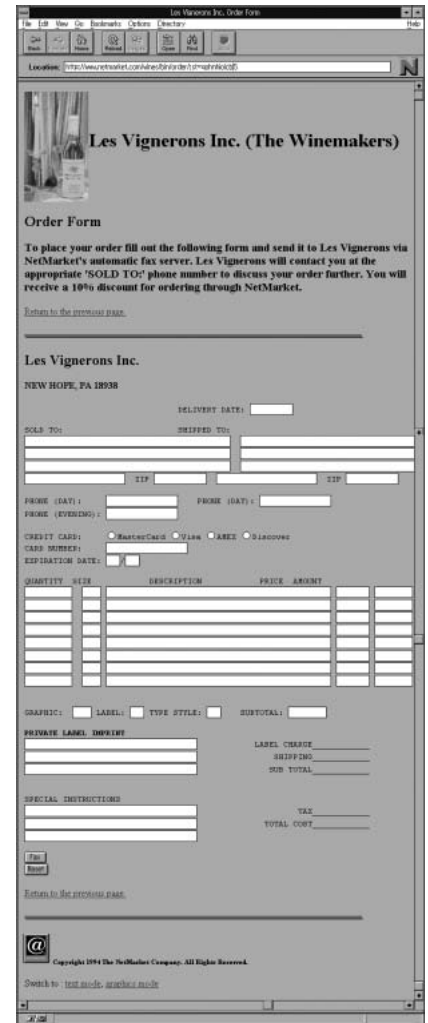
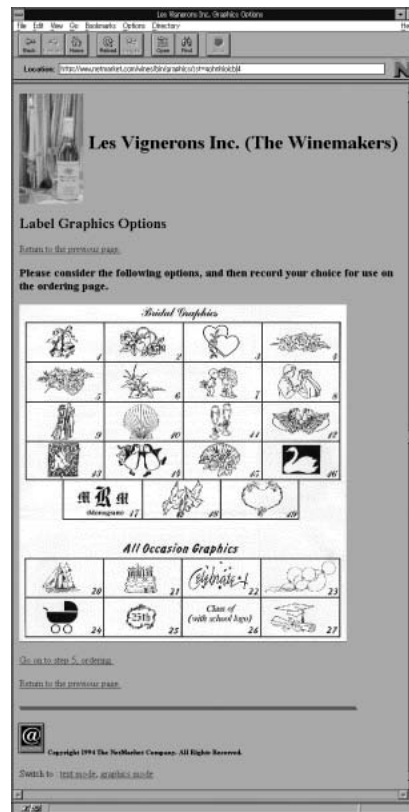
この記事は1994年12月初旬に作成しましたが1995年1月現在、別のドメインに移動しており、サービス内容も大きく変わっています。新しいURLは次のとおりです。 http://www.tagsys.com/Ads/LesVignerons/index.html



④ 第3ステップは「Type Style Options」であり、ラベルに記す文字の書体を選択する。全部で6書体が用意されている。

⑤ 第4ステップは「Label Graphics Options」で、ラベルの上部に入れる絵を指定する。どんなお祝いにも合うように、全部で27種類用意されている。

⑥ 第5ステップが実際の注文だ。「Order Form」に第2、3、4ステップで選択した記号/番号や、ラベルの文字を指定し、他の必要事項を記入し、「Fax」ボタンを押す。



コメンテーターから

## WINE of WORLD WIDE

ワインの原料は？と聞かれたら、ほとんどの方が「ぶどう」と答えると思います。そのぶどうはいつごろから地球に存在したと思いますか。およそ1億年前といわれています。アルコールは生命の水と呼ばれ「偶然の産物」といわれてきました。地球の気候の変化や土地の状態でぶどうの生殖分布も変化しました。いま、ワインの産地といえばフランスと答える方が多いと思います。確かにワイン産地の代表産地で優良ワインを産出しますが、いろいろな国でワインは造られ親しまれています。

日本に輸入されている代表的なワインの原産国をご紹介します。生産量はフランス、イタリア、スペイン、アメリカ、アルゼンチン、オーストラリア、ポルトガル、ドイツの順となります（フランスとイタリアは甲乙つけがたい）。また、スイス、オーストリア、ハンガリー、ロシア、ブルガリア、グルジア、ス

ロヴァキア、レバノン、イスラエル、トルコ、南アメリカ、アルゼンチン、チリ、ブラジル、カナダなどでも産出されます。日本では北海道、青森、岩手、秋田、山形、栃木、埼玉、東京、山梨、新潟、長野、京都、志賀、大阪、兵庫、鳥取、福岡、大分などで産出されています。

また、ワインは5つのタイプに分類されます。おぼえておくといいでしょう。

1. スティル・ワイン（非発砲性）
2. スパークリング・ワイン（発砲性）
3. フォーティファイド・ワイン（酒精強化）
4. アロマタイズド・ワイン（香味付け）
5. フルーツ・ワイン&ミート

### 橋口さんのモルトの本プレゼント

抽選で50名様に右に紹介した「DISTILLERY PACKAGE 1992」を差し上げます。ご希望の方は電子メールで編集部まで。

メールアドレス：nakajima@impress.co.jp

## DISTILLERY PACKAGE 1992

シングルモルトウイスキーの蒸溜所の詳細なデータが満載。プロの方以外でもシングルモルトにこだわりのある愛飲家の方は必携の一冊。



### コメンテーター

橋口孝司  
ホテル国際観光パーエイボン支配人&チーフパーテナー・社団法人日本パーテナー協会 関東東海本部 ホテル支部 支部長・プレゼンテーション研究会 評議員  
お酒に関するご質問は下記まで。



メールアドレス：MXD00701@niftyserve.or.jp



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)